

熊毛中学校生徒を支えるPTA活動  
～ 学校・家庭、家庭同士のつながりを深めるために ～

周南市立熊毛中学校PTA

## 1 学校地域の概要

PTA会長 : 村田 毅  
校長 : 中本 稔  
生徒数 : 431名  
世帯数 : 381世帯  
教職員数 : 30名  
所在地 : 〒745-0631



周南市大字安田1827番地の1

TEL 0833-91-0651 FAX 0833-91-0685

U R L : <http://www.shunan.ed.jp/kumagechu/>E - m a i l : [kumagechu@syunan.ed.jp](mailto:kumagechu@syunan.ed.jp)

## (1) 地域・学校の特徴

本校区は周南市東部に位置し、南は石城山、北は烏帽子岳、東西は国道2号線があり、光市、下松市、岩国市と隣接している。ナベヅルの渡来地八代と三丘温泉や呼鶴温泉が有名で、大河内、勝間、高水の旧山陽道沿いに旧跡などもある。周南地域のベッドタウンを抱える一方で、県立自然公園黒岩峡の景勝地をはじめ、自然豊かな環境の中、子どもたちは地域に温かく見守られ、下校時は「お帰り」「ただ今帰りました。」と言葉を交わす。

本校は、大河内小、勝間小、高水小、三丘小、八代小の5つの小学校から生徒が入学してくる。現在1年4クラス、2年4クラス、3年5クラス、特別支援学級2クラスの計15クラスで、生徒数431名の中規模校である。校区は広く7割以上の生徒が自転車通学をしており、八代地区は通学距離が6km以上あるため、スクールバスで通学している。

本年度は学校創立51周年にあたり、体育祭、文化祭、くまげ心のふれあいコンサートを記念行事として開催した。また、10月に新体育館が落成したことで教育環境も一層充実し、生徒たちはのびのびと学校生活を送っている。今後は、この体育館を思う存分使いながら日本一のいい学校をめざし、それぞれの生徒が成果を上げ、後輩たちに引き継いでいくことでお世話になった方々へ恩返しをしていく。

## (2) 学校の目標

### ① 校訓

#### **至誠 友情 希望**

至誠：常に真理と正義を愛し、誠意と責任をもって行動する

友情：相互に深い信頼と敬愛の念をもって、励まし高め合う

希望：より高い目標を掲げ、夢の実現に向かって努力する

### ② 学校教育目標

## **確かな学力と豊かな心を持ち、たくましく生き抜く生徒の育成**

### ③ めざす生徒像

く・・・工夫する生徒 → 知

ま・・・真心を大切にしている生徒 → 徳

げ・・・元気な生徒 → 体

### ④ チャレンジ目標

時を守る 場を清める 礼を正す

### ⑤ キャッチフレーズ

## **熊毛中を日本一の「いい学校」に**

『いい学校』とは、一生懸命がんばりたい生徒が、一生懸命がんばれる学校を地域ぐるみでつくっていくこと」と定義している。まじめなことを言っても笑う人がいない環境が人を成長させる。「日本一」とは、決して他校と比べるものではない。生徒全員が「あすも熊毛中でがんばりたい」と思えば、それは「日本一」と捉えている。

## (3) 熊毛地域コミュニティ・スクールについて

### ① 拡大学校運営協議会の開催

「地域ぐるみで子どもたちの学びや育ちを」を合い言葉に、本年度6月に5小小学校と本校のそれぞれの学校運営協議会委員が一堂に集まり、熊毛で育てたい子どもの姿を熟議した。熊毛地区の小学校低学年の子どもたちが本校3年生をあこがれる、そんな熊毛の子どもたちを地域ぐるみで育てていきたい。

### ② 育てたい熊毛っ子スローガン

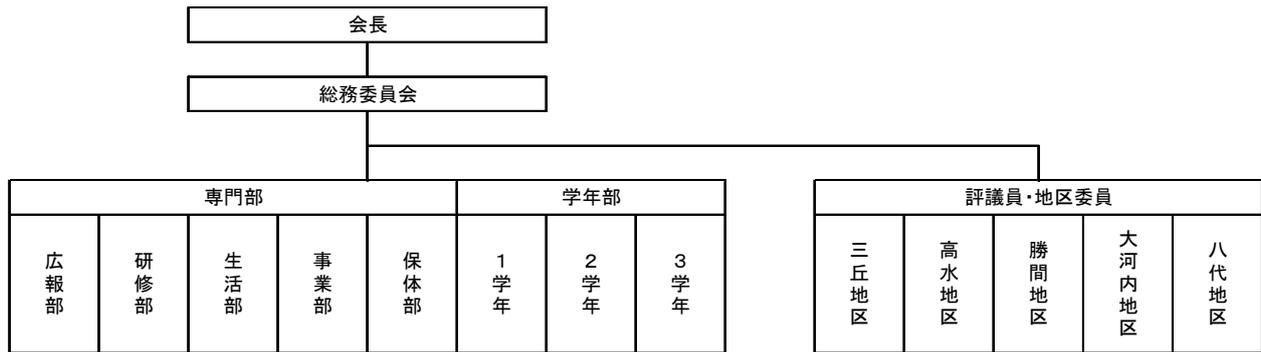
## **つながろう ふるさと大好き 熊毛っ子**

拡大学校運営協議会で提案された8案の中から、5小小学校と本校の保護者による投票をもとに、このスローガンを決定した。

### ③ 今後の方向性

このスローガンのもと、各小中学校のそれぞれの学校運営協議会で協議して、具体的な実践に取り組んでいくこととなる。熊毛中学校区の大きな特徴は、5小小学校と本校のそれぞれの学校運営協議会がつながり、学校どうしの連携を更に深め、地域の子どもの義務教育9年間を見通した学びや育ちを継続的に行うことができることである。

## 2 P T Aの組織図



役員	人員	任 務	選 出 方 法
会 長	1名	本会を代表し、会務を処理する。	副会長の相選または推薦とする。
副会長	7名	会長を補佐し、会長に事故あるときは、その任務を代行する。	各小学校区毎の地区委員会において1名選出し、会長により女性を2名推薦する。
専門部長	5名	部会を代表し、部会業務を処理する。	各専門部会において選出する。
顧 問	若干名	本会に参与し、会長の諮問に応ずる。	学校長及び本会に功績のあった者につき、会長がこれを委嘱する。
監 査	2名	会計事務を監査する。	正会員の中から会長がこれを選出する。
書 記	若干名	本会の庶務を司る。	教職員より選出し、会長がこれを委嘱する。
会 計	1名	本会の会計を司る。	教職員より選出し、会長がこれを委嘱する。
地区委員		小学校区毎の地区委員会において意見を交換し、事業運営に協力し、地区活動、地区の連絡にあたる。	各地区並びに町内会別会員の互選とする。
学級委員	各クラス3名	担任教師と連携をとり、会員相互の連絡に当たり、併せて教育効果の向上と会員の研修にあたる。	学級委員長及び学級副委員長として、各学級毎に互選する。
学年委員	各学年1名	担任教師並びに学級委員と連携し、学級相互の連絡調整にあたる。	学級委員が互選する。
評議員		会務を審議・執行する。また、いずれかの専門部に所属し、その活動の推進を図る。	各校区地区委員の代表とする。

※ 総務委員会・・・会長、副会長、専門部長、学年委員長、校長、教頭とする。

### 3 研究主題について

#### 熊毛中学校生徒を支えるPTA活動

～ 学校・家庭、家庭同士のつながりを深めるために ～

本校は本年度学校創立51周年を迎え、併せて新体育館が完成した。これに伴い、体育館竣工式の他に、文化祭や体育祭の行事、人権教育・心のふれあいコンサートを学校創立51周年の記念行事とした。

このように歴史と伝統のある行事において、本校生徒の愛校心をはぐくみ、誰もが学校に行きたくなるような学校を学校・家庭・地域がともにつくり上げていきたいと考えている。PTAも全力で取り組みたいと考えてこの研究主題を設定した。

### 4 活動内容

#### (1) 事業部

##### ① PTAバザー 6月21日(日)

###### ・ 遊休品販売

熊毛地区全家庭に品物のご協力を依頼し、集まった遊休品の値付けをして体育館で販売した。

###### ・ 喫茶部 (炊き込みご飯、ケーキセット、ドーナッツ、唐揚げ、パン、コーヒー、ジュース)

前日の米研ぎ、当日朝の炊き込みご飯の炊飯・パック詰めを行い、保護者や生徒に販売した。



当日朝5時からの準備のようす



当日体育館にて、販売のようす

##### ② 体育祭ジュース販売 9月6日(日)

2箇所の販売テントを準備し、ジュース類やお茶等の販売を行った。

#### (2) 研修部

##### ① 家庭教育学級

(ア) 1回目：7月11日(木) 整理収納セミナー 熊毛中学校会議室  
講師：柴田 祥子先生

(イ) 2回目：7月11日(金) 第1回学校保健委員会 熊毛中学校会議室

(ウ) 3回目：11月5日(金) 性教育講演会 熊毛中学校体育館  
講師：高杉 敏子先生

1校時 1年生及び希望保護者対象  
「思春期の成長するからだ・あなた ～二次性徴の理解～」

2校時 2年生及び希望保護者対象  
「『第2の誕生』の時 思春期を生きるあなたへ ～こころと向き合う」

3校時 3年生及び希望保護者対象  
「今、あなたに伝えたいこと ～助産師からのメッセージ～」



(エ) 4回目：11月25日(水) 人権教育参観日 熊毛中学校体育館



創立51周年記念くまげ心のふれあいコンサート

ちひろトーク&コンサート ～金子みすゞとともに～

講師：ピアニスト ちひろ

(オ) 5回目：12月4日(木) 拡大学校保健委員会 熊毛中学校会議室



参加者は、熊毛地区の幼保小中高の園・学校関係者、小中学校PTAに加えて熊毛総合支所市民福祉課保健師、学校医の合わせて30名で、熊毛中学校区健康課題について共通理解を図り、各校・園の取組を紹介していただいた上で協議した。

(カ) 6回目：1月21日(水) 第2回学校保健委員会 熊毛中学校会議室

② 研修旅行

10月21日（火） 広島方面

株式会社ヤマサキ西風新都工場とカルビー株式会社広島工場見学

③ 周南市ハートフル人権セミナー

9月25日（木）三丘徳修館

10月7日（火）大河内公民館

(3) 生活部

① 登校時の交通指導（6月～翌年3月26日、毎週水曜日）

本校は7割以上の生徒が自転車通学をしており、校区内の東西に片道1車線の国道2号線を有している。通学路の危険な状況は改善されておらず、どうしても大人の目が必要である。そのため、学校と家庭が連携して交通安全指導に力を入れている。部員全員が当番制で、15箇所の立哨場所で交通安全指導を行っている。

② 花植えボランティアへの協力 11月12日（水）

放課後、ボランティア生徒約30名と保護者で校内の花壇に花植え活動を行っている。

③ 校内環境整備ボランティア活動 8月2日（土）

日 時：8月2日（土）

場 所：熊毛中学校

活動内容：新館廊下、階段、教室のペンキ塗り

テニスコートベンチの修復

植木の剪定

④ 創立51周年記念体育祭交通整理 9月8日（日）

保護者の駐車場として、学校周辺の駐車場を6箇所確保し、立て看板を設置したり、案内誘導を行ったりして交通事故防止やトラブル防止に努めている。

⑤ 下校時の見守り活動

7月7日（月）～11日（金） 11月20日（木）～27日（金）

数年前から実施している活動である。



(4) 広報部

広報誌「ふでのき」 111～113号発行

歴史と伝統のある学校行事やPTA行事において、本校生徒の愛校心をはぐくみ、誰もが学校に行きたくなるような学校を学校・家庭・地域がともにつくり上げていくため、年3回発行している。

タイトル「ふでのき」は、旧熊毛町の木「だんどうつつじ」の別名で、A4版カラーで6ページ分の紙面に工夫を凝らしたレイアウトで仕上げている。



第111号 平成26年7月発行



第112号 平成26年12月発行

#### (5) 保体部

##### ① クラス対抗親子ふれあい綱引き大会 6月16日(日)

本校2大学校行事(体育祭と文化祭)と同様に、大変盛り上がるPTA行事である。今年度は、荒天のため体育館で生徒・保護者・教員が一致団結して健闘した。



##### ② 第1回学校保健委員会 7月11日(金)

本校生徒の「健康診断の結果」と「体力向上に向けた取組」をもとに、学校医より「睡眠について」、学校歯科医より「熊毛地区の歯科の状況について」それぞれ助言をいただいた。

##### ③ 創立51周年記念体育祭 9月8日(日)



全校生徒による人文字「51」



全校生徒による人文字「校章」

P T A 種目「地区別対抗リレー（二人三脚・百足）」の参加者取りまとめを行い、P T A 種目「綱引き」を実施した。



④ 給食試食会 11月25日（月）

人権教育参観日・創立51周年記念心のふれあいコンサートと同日開催

⑤ 第2回学校保健委員会（1月21日（水））

「冬季の健康管理」について、保健委員会の発表を聞いた後、協議を行った。その後、学校医の松永央医師、学校歯科医の清水正吉歯科医師に指導を受けた。

(6) P T A 執行部

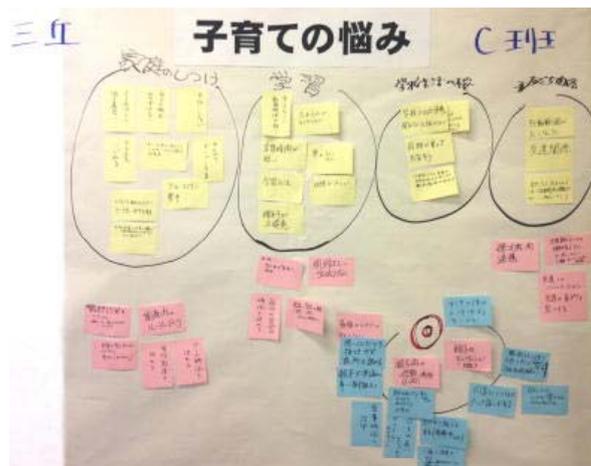
① 八代地区リサイクル活動への協力 5月11日（日）



## ② 地区懇談会

P T A主催地区懇談会を6月2日～6日の5日間、午後7時半から9時まで5会場で行った。

P T A執行部、本校教職員をはじめ、学校運営協議会委員、各地区の小学校教職員や民生委員・主任児童委員、保護者が参加して小グループに分かれ、「子育ての悩み」をテーマにワークショップ形式で熟議を行った。



## ③ 地区別ボランティア活動への協力

本年度より、生徒の地区別ボランティア活動を部活動単位から自分の住んでいる地区の活動場所（19箇所）の活動へ変更して8月24日（日）に実施することとなり、地域交流の場として、生徒・保護者・地域で草刈り、清掃等を行った。



## ④ P T Aコーラス活動

10月25日（土）創立51周年記念文化祭

11月29日（土）周南市P T Aコーラス交流会

P T A会員から合唱団の募集を行い、P T A学級副委員26名を含む約50名の合唱団を結成し、本年度落成した新体育館のステージで演奏を披露した。

指揮者は「混声くまげ i f」指導者を招聘し、4回にわたる練習から本番まで

指導していただいた。伴奏者はP T A会員から協力を仰ぎ、混声三部合唱「レット・イット・ゴー ～ありのままで～」 「世界に一つだけの花」の2曲で生徒たちとともに一体感のある演奏を作り上げた。



創立51周年記念文化祭「P T A合唱」

周南市P T Aコーラス交流会では、校区内の5小学校P T Aにも募集を行い、70名を超える大合唱団「熊毛連合」として、周南市民館で演奏を披露した。

## 5 成果と課題

今年度のP T A活動は、50年の歴史の中で学校と家庭の連携により築き上げてきた伝統を守りつつ、新しい50年にふさわしいP T A活動にすべくP T A会員が一丸となって本校生徒を支える活動にしてきた。P T A主催の地区懇談会を始めさまざまな活動をとおして学校と家庭、家庭同士のつながりを深めることに貢献できた。これは、本校のすべての子どもたちの表情や態度を見ると、安全で安心した学校生活を送っている姿から推察できる。

今年度のP T A各部の活動を振り返り、良さを引き継ぎ、改善点を明確にして各活動をよりよいものにしていくことで本研究主題をさらに追究していくことができると確信している。このことを念頭に置いて、毎月1回行われるP T A総務委員会で深く協議していきたい。

今回、このような機会をいただいた山口県P T A連合会に感謝申し上げますとともに、よりよいP T A活動を推進していきたい。